



ひめじ まちづくり 喫茶

日時

7/22 (火)

18:30 ~ 20:30

話題提供 60分・コーヒーブレイク 10分
ディスカッション 50分

参加無料・事前連絡不要

参加ご希望の方は、当日会場までおこしください。
スペースの制約から先着 30 名とさせていただきます。

会場

納屋工房コミュニティスペース

姫路市本町 68 番地 大手前第一ビル 4 階
TEL079-263-7878 <http://nayakobo.com/>

第 19 回

GUEST-SPEAKER

NPO 法人いたみタウンセンター

村上 有紀子 さん

演題 『伊丹のまちづくりにハマった理由
～マダムと呼ばれる女～』



各都市でブームのように開催されている「まちなかバル」を関西で最初に開催したのは伊丹なのです。また市立図書館にはコミュニティスペースが併設され、新しい図書館の姿を模索中。先日現地を訪れたときも、広場に面したカフェには仕事帰りの濃い人たちが集まり、新たな活動を生み出す為の熱いディスカッションがおこなわれていました。

第19回ひめじまちづくり喫茶では、それらの活動の中心人物のひとりである「一市民」村上有紀子さんをゲストスピーカーにお招きします。

プロフィール

結婚して伊丹に移り住み、伊丹の町や歴史、まちなかのイベントに全く興味を持たなかった専業主婦が、5年前に参加したまち歩きイベントをきっかけに突然町に出てきました。コンサートの企画運営を行い、伊丹まちなかバルの運営に関わり(店集めやバルインタビューで市民と飲食店をつなぐ等)、商店街を舞台にした伊丹まちなか映像祭を行い、空き店舗で市民の活動拠点を作り、新設の図書館では官民一体の事業を展開しています。

NPO 法人いたみタウンセンターの理事になってからは、様々なイベントを企画、運営、サポーターの取り込みや情報発信もおこなっています。「市民の参画と協働」や「バル」をテーマにした講演の機会も増えています。今ではまちづくりにどっぷりとハマっています。2013年5月、理事長に就任。(2014年3月大阪音楽大学卒業。)3児の母、専業主婦。

「ひめじまちづくり喫茶」2年目にあたって

人の出会い→刺激→交流→自律的な新しい動き→姫路まちなかの魅力アップ」と言う仮説を立て、その第一歩である新しい人の出会いの場になればという想いから、2013年1月に「ひめじまちづくり喫茶」をスタートし、月1回の開催を続けてきました。ゲストスピーカーには大阪で活動されている方を中心に、箕面、尼崎、小豆島、尾道からもお呼びし、地域の資源に着目した魅力アップ活動や発信活動、人のつながりをベースとした元気づくりなどの事例を学びました。彼らの話には「自律的活動を積み重ねている」「まちを面白がっている」という共通点があったように感じます。また「多分野のメンバーが集まるのが大きな力になる」「出会いからつながりが生まれまちが元気になっていく」「記録し発信することも大切」などの実体験に基づくまちづくりのノウハウも得ることができました。さらにはこれまでの12回の場を通じて新しいつながりも生まれています。

2014年1月からは活動2年目に入りました。まちはそう簡単に変わるものではありませんが、私たちの活動がわずかでも変わる方向に寄与していると信じて、また参加された方々からの声に耳を傾け軌道修正をおこないながら活動を継続していきます。

2014年1月 チームひめまち喫茶 (小川、篠原、長谷川、平田)



次回は8/21(木)に大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課参事の領家誠さんをお迎えし、MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪)を通じて行政という立場から自律的なまちづくりを促す動きをつくりだしている事例をお伺いします。